

平成22年度学力調査（小4、中1～3）

【用語の説明】

＊正答率＝児童・生徒が正答した問題数を平均し、パーセントで表したものです。

100点満点として考えたときの平均点と同じ意味を持ちます。

1. 正答率の全体比較

調査対象学年		小学校 第4学年		中学校第1学年				中学校 第2学年		中学校第3学年		
教科		国語	算数	国語	社会	数学	理科	社会	理科	社会	理科	英語
正 答 率	日田市 平均	70.8	76.1	67.5	62.2	60.4	64.8	56.3	62.8	56.4	55.1	58.0
	全国平均	66.7	70.2	66.3	60.9	56.3	62.6	53.2	60.3	56.9	57.8	61.0

○小学校4年生では、国語で4.1ポイント、算数で5.9ポイント全国平均を上回っています。

○中学校1年では、国語で1.2ポイント、社会で1.3ポイント、数学で4.1ポイント、理科で2.2ポイント全国平均を上回っています。

○中学校2年生では、社会で3.1ポイント、理科で2.5ポイント全国平均を上回っています。

○中学校3年生では、社会で0.5ポイント、理科で2.7ポイント、英語で3ポイント全国平均を下回っています。

2. 対策

以上の実態を踏まえ、指導形態、授業のあり方、授業を支える活動について、次のような工夫に取組めます。

【指導形態】

○子どもたちの実態や学習内容、場面に合わせて、複数の教員による指導（TT指導）・少人数指導・習熟度別指導などを、柔軟に取り入れていきます。

【授業のあり方】

○子どもたちが、課題（問題）に対して、考える時間、判断する時間、表現する時間を確保するように努めます。

○1時間の ねらい を明確にし、その1時間で確実にねらいに到達する授業を行います。

○1時間の ねらい を明確にし、課題（問題） 子どもたちの考え まとめ がわかりやすい板書を行います。

○理解が遅れがちな子どもに対して、今まで以上に支援を行っていきます。

【授業を支える活動】

○朝自習の時間等で、子どもの実態に応じたドリル学習などを計画的に実施し、基礎・基本の力の定着を図ります。

○ねらいを明確にした宿題や週末の課題を工夫して、学習内容の定着を図ります。

平成22年度大分県実施基礎・基本の定着状況調査（小5、中2）

【用語の説明】

※正答率とは、児童生徒が正答した問題数の割合を平均化し、パーセントで表したものです。

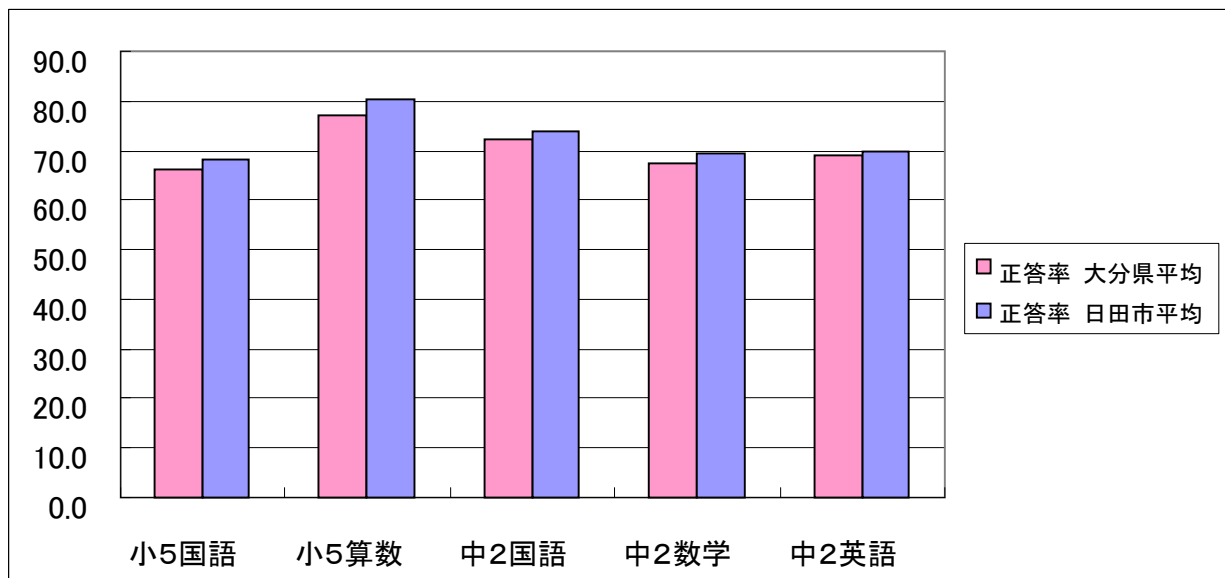
100点満点として考えたときの平均点と同じ意味を持ちます。

※達成率とは、あらかじめ設定された目標値に達した児童生徒の割合を表しています。

（目標値は、過去の問題や他地区のデータなどを参考にして設定された数値です）

1. 正答率及び達成率の全体比較

調査対象学年		小学校第5学年		中学校第2学年		
教科		国語	算数	国語	数学	英語
正答率	日田市平均	68.4	80.4	73.8	69.5	70.0
	大分県平均	66.0	77.1	72.3	67.5	69.2
達成率	日田市平均	68.6	77.6	68.3	65.3	60.5
	大分県平均	61.5	67.9	64.5	61.3	59.2

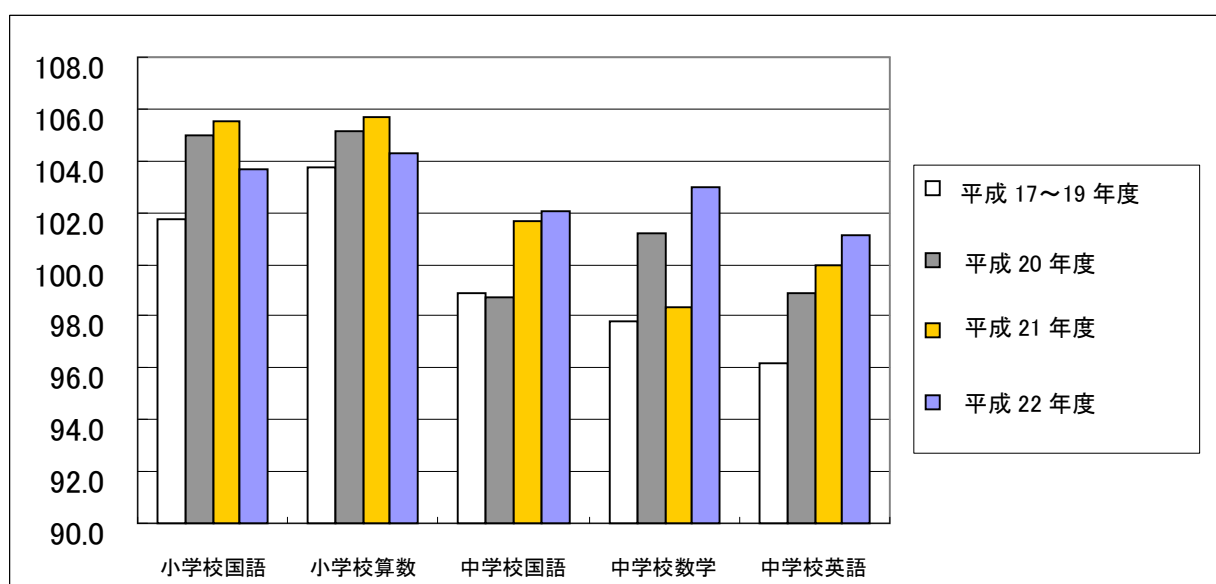


○正答率、達成率ともに、小学校・中学校すべての教科において県平均を上回っています。

2. 正答率大分県比の過去との比較

調査対象学年		小学校第5学年		中学校第2学年		
教科		国語	算数	国語	数学	英語
正答率 大分県比	平成 17～19 年度	101.8	103.7	98.9	97.8	96.2
	平成 20 年度	105.0	105.2	98.7	101.2	98.9
	平成 21 年度	105.5	105.7	101.7	98.4	100.0
	平成 22 年度	103.6	104.3	102.1	103.0	101.2

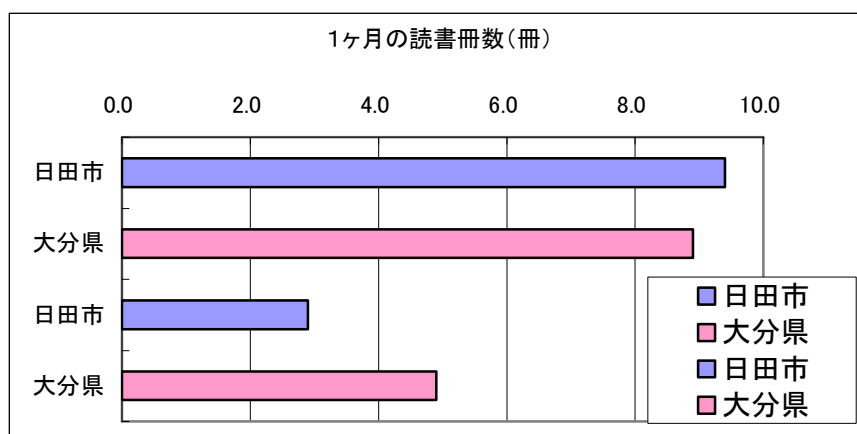
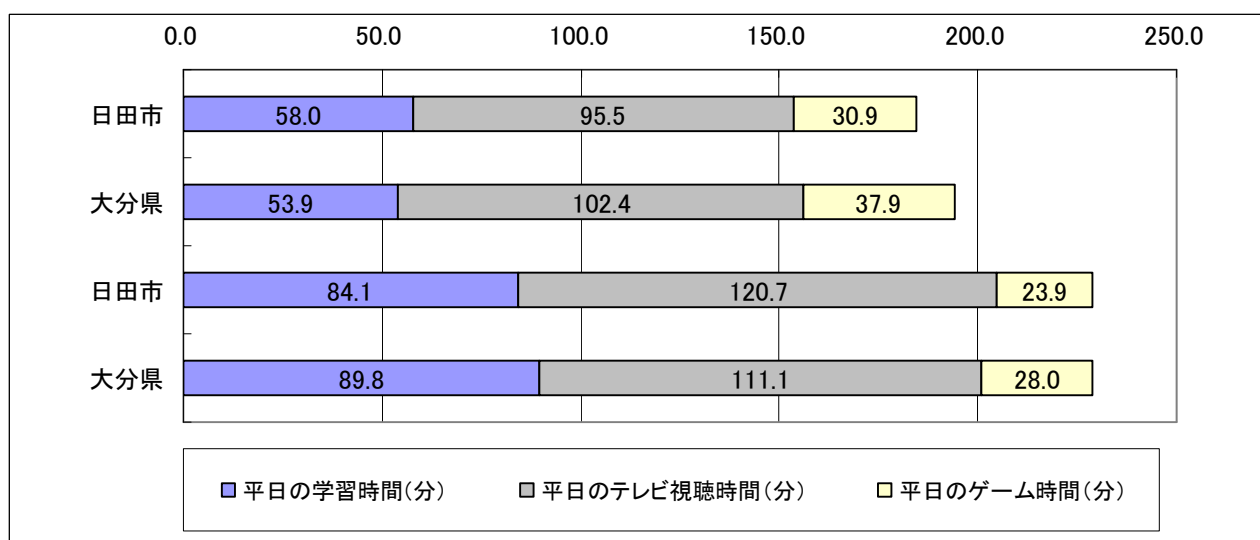
※正答率大分県比とは、大分県の正答率を100とみた場合の、日田市正答率の割合です。



○今年度は、小学校、中学校のすべての教科で、大分県比100を上回っています。

3. 学習・生活に関するアンケート結果

アンケート項目	小学校第5学年		中学校第2学年	
	日田市	大分県	日田市	大分県
平日の学習時間(分)	58.0	53.9	84.1	89.8
平日のテレビ視聴時間(分)	95.5	102.4	120.7	111.1
平日のゲーム時間(分)	30.9	37.9	23.9	28.0
1ヶ月の読書冊数(冊)	9.4	8.9	2.9	4.9



- 「平日の学習時間」は、小学校5年では県を上回っていますが、中学校2年では下回っています。
- 「平日のテレビの視聴時間、ゲームの時間」では、中学校2年のテレビの視聴時間が県を上回っています。その他の時間については、県を下回っています。
- 「1ヶ月の平均読書冊数」は、小学校5年では県を上回り、中学校2年では県を下回っています。

4. 対策

過去4年間を見ると、基礎・基本の学力は定着・向上してきているといえます。今年度は、小学校5年、中学校2年のすべての教科で大分県平均正答率を上回りました。今後も、今までの取り組みを継続していくとともに、さらなる定着・向上に向けて、次のような工夫を重ねていくことが大切です。

【指導形態】

○子どもたちの実態や学習内容、場面に合わせて、複数の教員による指導（TT指導）・少人数指導・習熟度別指導などを、柔軟に取り入れていきます。

【授業のあり方】

○子どもたちが、課題（問題）に対して、考える時間、判断する時間、表現する時間を確保するように努めます。

○1時間の ねらい を明確にし、その1時間で確実にねらいに到達する授業を行います。

○1時間の ねらい を明確にし、課題（問題） 子どもたちの考え まとめ がわかりやすい板書を行います。

○理解が遅れがちな子どもに対して、今まで以上に支援を行っていきます。

【授業を支える活動】

○朝自習の時間等で、子どもの実態に応じたドリル学習などを計画的に実施し、基礎・基本の力の定着を図ります。

○ねらいを明確にした宿題や週末の課題を工夫して、学習内容の定着を図ります。

平成22年度全国学力・学習状況調査（小6、中3）

【調査内容】

1. 国語、算数・数学に関する調査
A・・・主として「知識」に関する問題
B・・・主として「活用」に関する問題
2. 児童・生徒質問紙
生活習慣や学習環境等に関する調査

＊本年度は、文部科学省の方針により、調査対象が抽出校と希望利用校とに分けられました。日田市教育委員会としては、すべての児童・生徒の学力実態を把握・分析し、今後の対策を講じることが必要であると考え、すべての学校で調査を行いました。ここに記載した数値は、抽出校と希望利用校とのデータを合算し、集計を行ったものです。（なお、県および全国に関わる数値は抽出校のデータです）

1. 国語、算数・数学に関する調査結果

【平成22年度平均正答率】

対象学年	教科	主として知識(A)			主として活用(B)		
		日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
小学校 第6学年	国語	86.7	82.1	83.3	78.4	76.3	77.8
	算数	78.6	73.3	74.2	49.3	48.0	49.3
中学校 第3学年	国語	74.7	74.4	75.1	65.3	63.9	65.3
	数学	61.2	62.4	64.6	40.5	41.1	43.3

- 小学校6年では、「主として知識」において、国語で3.4ポイント、算数で4.4ポイント全国平均を上回っている。「主として活用」において、国語で0.6ポイント上回り、算数では±0ポイントである。
- 中学校3年では、「主として知識」において、国語で0.4ポイント、数学で3.4ポイント全国平均を下回っている。「主として活用」において、国語で±0ポイント、数学で2.8ポイント下回っている。

2. 児童・生徒質問紙（おもな調査結果）

【学習・生活習慣】（肯定的な回答の割合）

質問事項	小6	日田市	割合（％）
	中3	全国	
携帯電話で通話やメールをしていますか（していない・持っていない）	小学校	日田市	13.0
		全国	23.1
	中学校	日田市	40.0
		全国	52.8
家の手伝いをしていますか	小学校	日田市	77.8
		全国	80.2
	中学校	日田市	60.2
		全国	64.8
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	小学校	日田市	54.8
		全国	58.3
	中学校	日田市	34.5
		全国	41.8
家で学校の宿題をしていますか	小学校	日田市	96.2
		全国	96.0
	中学校	日田市	92.3
		全国	84.6
家で学校の授業の予習をしていますか	小学校	日田市	29.7
		全国	40.4
	中学校	日田市	20.0
		全国	30.9
家で学校の授業の復習をしていますか	小学校	日田市	42.7
		全国	49.6
	中学校	日田市	20.0
		全国	30.9
家で苦手な教科の勉強をしていますか	小学校	日田市	40.6
		全国	49.9
	中学校	日田市	37.3
		全国	43.8
今住んでいる地域の行事に参加していますか	小学校	日田市	84.5
		全国	61.6
	中学校	日田市	51.6
		全国	34.3

近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	小学校	日田市	94.6
		全国	89.9
	中学校	日田市	86.1
		全国	83.9

【学習時間・テレビ視聴時間の平均】（単位:分）

学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか	小学校	日田市	128
		全国	137
	中学校	日田市	154
		全国	145
普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか	小学校	日田市	173
		全国	163
	中学校	日田市	160
		全国	153

- 「携帯電話で通話やメールをしていますか」「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか」の質問項目では、全国よりも肯定的な回答割合が高い。
- 学習についての質問では、「家で学校の宿題をしていますか」の質問に対する肯定的な回答の割合は全国よりも高いものの、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」「家で学校の授業の予習をしていますか」「家で学校の授業の復習をしていますか」「家で苦手な教科の勉強をしていますか」の質問に対しての肯定的な回答の割合は、全国よりも低くなっている。
- 授業以外での学習時間（平日）では、小学校は全国平均より少なく、中学校は全国平均より多い。
- テレビ、ビデオ等の視聴時間（平日）では、小学校、中学校ともに、全国平均よりも多い。

3. 対策

以上の実態を踏まえ、指導形態、授業のあり方、授業を支える活動について、次のような工夫に取り組めます。

【指導形態】

○子どもたちの実態や学習内容、場面に合わせて、複数の教員による指導（TT 指導）・少人数指導・習熟度別指導などを、柔軟に取り入れていきます。

【授業のあり方】

○子どもたちが、課題（問題）に対して、考える時間、判断する時間、表現する時間を確保するように努めます。

○1時間の

 を明確にし、その1時間で確実にねらいに到達する授業を行います。

○1時間の

 を明確にし、

 がわかりやすい板書を行います。

○理解が遅れがちな子どもに対して、今まで以上に支援を行っていきます。

【授業を支える活動】

○朝自習の時間等で、子どもの実態に応じたドリル学習などを計画的に実施し、基礎・基本の力の定着を図ります。

○ねらいを明確にした宿題や週末の課題を工夫して、学習内容の定着を図ります。

この調査において明らかになるのは、児童・生徒の学力の一部であり、この調査結果をもって学力のすべてを判断できるものではありません。しかし、実際に数値で測ることのできる大切な部分でもあります。

日田市教育委員会では、調査の結果を詳細に分析することで、今後、子どもたちにどんな指導をしていかなければならないのか、どんなことを家庭にお願いしなければならないのかを明らかにして、具体的に実践に移していくことが本調査の大切な意義であると考えています。

また、各学校においても、自校の結果を分析し具体的な対策を立て、教科の指導に生かすようにしています。